

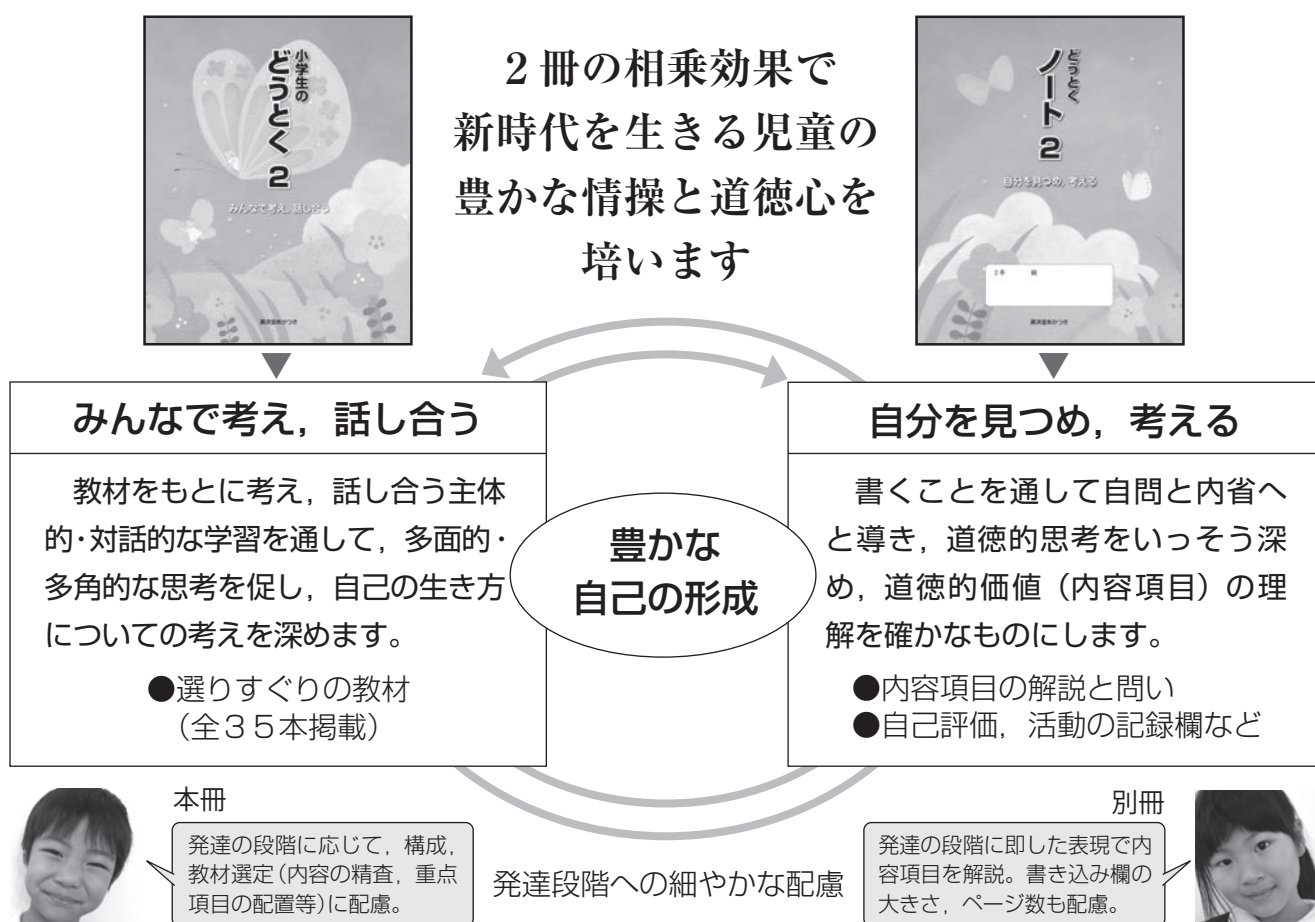
編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-8	小学校	道徳	道徳	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 210 道徳 211	みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく2 自分を見つめ、考える どうとくノート2		

1 編修の基本方針

教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するため、本教科書は以下を基本方針として編修しました。



ノート別冊には、理由があります

- 児童の学習状況や授業の進め方に応じて、活用のタイミングを図れます。
 - ▶授業の事前・事後、導入・終末、その他(学校行事など児童の体験や各教科との関連等)の機会に応じて、弾力的な活用が可能です。
- 提出が容易で、児童の心の成長が見えます。
 - ▶別冊ゆえに提出が容易で、随時、児童の学習状況を教師が確認できます。記述からは、児童の心の状態や成長が見て取れ、その後の指導や評価に生かすことができます。

○一冊がまるごと児童の「心の記録」になります。

▶教科書使用終了後も、ノートはその学年の心の記録として各自で保管します。自己を振り返って、自分の考えを比較したり成長を実感できるものとして、次学年以降も折に触れて活用することができます。



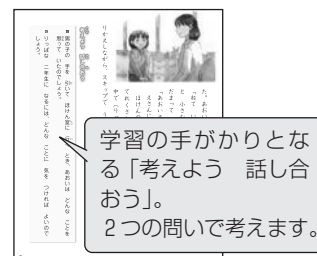
活用性・管理性・保存性・記録性に優れた別冊方式

(1) 豊かな情操と道徳心とを培う本冊と「道徳ノート」(第1号)

本冊では、各教材ごとに学習の手がかりとなる「考えよう話し合おう」を配置し、児童の主体的な思考、積極的な話し合いを促す構成としました。みんなで考え、話し合う協働的な学習により、児童は、他者の多様な感じ方や考え方に触れることができ、多面的・多角的なものの見方や考え方へとつながる新たな視点を得ることができます。

また、道徳ノートは、内容項目別に構成することで学習内容(道徳的諸価値)を明確化しました。児童は、教師の指示に沿って授業の事前・事後、あるいは授業の導入・終末などに別冊ノートを活用することにより、道徳的諸価値への理解が深まり、効果的にねらいに迫ることができます。

児童の学習状況や体験や各教科との関連、教師がイメージする授業の進め方や展開等に応じ、2冊を柔軟に活用することで、豊かな情操と道徳心を培うことができる教科書です。



学習の手がかりとなる「考えよう話し合おう」。
2つの問いで考えます。



各内容項目の説明を発達の段階に即した表現で示してあります。

(2) 発達の段階に即した、魅力あふれる35時間分の教材があります(第1~5号)



すべての学年において、年間の配当時数分の教材を掲載しました(第2学年35教材)。各学年の発達の段階を考慮した、児童が興味をもって「学びたくなる」選りすぐりの教材群から、自主自律、責任、正義、勤労、生命や自然環境、伝統文化、国際平和などの大切さ、素晴らしさを楽しく学ぶことができます。

問題意識をもち多様に考えることができる教材、自己の体験や経験に照らして考えることができる教材、悩みや葛藤、心の揺れなど人間らしさが理解できる教材、よりよく生きる喜びや勇気、感動を与えられる教材を厳選しています。

(3) 命の教育を重視します(第4号)

本教科書は、特に「生命尊重」に重点をおき、編修しました。内容項目「生命の尊さ」は、最大時間数(年間3時間)を配当し、重点的に学べるよう2時間連続で配置しています。また、第2学年では、命の教育の一環として、夏休み前に「自らの命を守ること」の大切さを学べるよう、安全教育に関する特集ページを設けています。

2 対照表

本教科書本冊及び別冊の構成・内容と教育基本法第2条の各号との対照は以下の通りです。第1号に示される「道徳心を培う」については、全内容に該当することから、各々への表示は省略しました。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
詩／きみに あえて うれしい	2年生の児童にとって友人関係は生活の重要なベースとして考え、他者との関わりを前向きに捉える詩を掲載しました。【第1・3号】	前見返し裏	
どうとくの 時間は こんな 時間	第2学年段階での道徳の時間の具体的な授業のイメージを列挙しました。自分の心をしっかりと育てることができる楽しい時間であることを確認し、児童に期待をもたせます。【第1号】	p.1～3	
道徳ノート	「今の自分を見つめて」の書き込み欄があります。【第1号】	巻頭	
自分のこと	よいことわるい ことをくべつして	児童の実態に近い教材として「⑦ぬれたボール」「⑨ポケット二つ」を、物語として「⑳カメタのなみだ」を掲載し、善悪の判断についての価値理解を深め、実践意欲を高めます。【第1号】	⑦ p.20～23 ⑨ p.27～29 ⑳ p.84～87
	道徳ノート	生活の中で実践したいことの書き込み欄を設けました。【第1号】	p.1
	すなおにのびのびと	「④ねこがわらった」で主人公の内面にある正直な心を捉え、「⑯お月さまとコロ」では主人公の内面の葛藤を通し、真理を求める態度と関わる正直、誠実について、道徳的価値の理解を高めます。【第1号】	④ p.12～13 ⑯ p.50～53
	道徳ノート	正直で明るい心について考える書き込み欄を設けました。【第1号】	p.2
	きそく正しく 気持ちよい毎日を	健やかな身体や自主及び自律の精神を養うこととの関連を図り、「①るっぺ どうしたの」でわがままをせず規則正しい生活を送ることを、「⑩あゆくんとカレーライス」で食育教育の視点から好き嫌いのない食生活を、「⑰えんぴつは何さい」で物を大切にすることを考えます。【第1・2号】	① p.4～6 ⑩ p.30～33 ⑰ p.54～55
	道徳ノート	自己の生活を振り返り、自問内省する問いを設けました。【第1・2号】	p.3
	自分のよさに 気づいて	「⑱とべないペンギンくん」を通し、自分のよさを見つめ自己の価値を認めて自己肯定感を高めます。【第2号】	⑱ p.59～61
	道徳ノート	他者との関わりを通して自分の長所について考えます。【第2号】	p.4
	自分でやることは しっかりと	自主及び自律の精神を養うことに関わるものとして、「㉓自分できめたことだから 一福原 愛」 「㉔小さなど力のつみかさね 二宮 金次郎」を掲載、実話を通して価値理解を高めます。【第2号】	㉓ p.70～73 ㉔ p.101～103
	道徳ノート	自己の体験を振り返り、学習を通して意欲を高めます。【第2号】	p.5
あい手のこと	あたたかい心で 親切に	進級直後に扱う「②あおいはりっぱな二年生」、物語の「㉚ぐみの木と小鳥」、身近な場面を例示した「㉛こんなときどうするの」の3編を掲載し、主体的に社会に関わる存在として思いやりの重要性を学び、児童の実践意欲を引き出します。【第3号】	② p.7～9 ㉚ p.62～65 ㉛ p.96～97
	道徳ノート	人に配慮する気持ちを引き出す書き込み欄を設けました。【第3号】	p.7
	まわりの人に かんしゃして	「⑬お手紙書いたよ」を通して、感謝の気持ちを相手に伝えることの意味を考える機会とし、感謝の思いは社会における円滑な人間関係の基礎になることについて気づきを促します。【第3号】	⑬ p.42～43
道徳ノート	お世話になっている人に感謝の手紙を書く活動があります。【第3号】	p.8	
気持ちの よいふるまいを	「⑤たびに 出て」では挨拶の大切さを考え、「㉜ふわふわことばちくちくことば」では言葉遣いの持つ意味について学び、社会において人と関わっていく中での礼儀の意義について考えます。【第3号】	⑤ p.14～16 ㉜ p.74～75	
道徳ノート	挨拶や言葉遣いについて考える書き込み欄を設けました。【第3号】	p.9	

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
あい手つのこと ともだちと なかよく 本冊教材番号 15 30 道徳ノート	第2学年段階において一定の友人関係が確立していることにも配慮し「 15 言えなかったことば」では親しい友達との関わり方にも配慮があることに気づかせます。「 30 森のともだち」では、友達とは共に信頼し助け合う存在であることに気づかせ、友達と仲良く協力し合うことへの意欲を引き出します。【第3号】 友達に関する書き込み欄を設け自問内省を深めます。【第3号】	15 p.47～49 30 p.92～95 p.10
みんなのこと やくそくや きまりをまもって 本冊教材番号 3 8 18 道徳ノート	「 3 みんなが気もちよく」「 8 黄色いベンチ」「 18 おじさんの手紙」の3編を通して、公共性を養い、社会の形成者として身につけるべき規則を尊重する意識を高めます。【第3号】 公共の場での心構えを考える書き込み欄を設けました。【第3号】	3 p.10～11 8 p.24～26 18 p.56～58 p.12
すききらいを しないで 本冊教材番号 29 道徳ノート	正義を重んじることと関わる公正・公平の内容項目では、「 29 だれにたくさんあげようかな」で、問題解決的な学習を通して、公平さについての道徳的思考を促します。【第3号】 公平・公正について、分かりやすく説明しています。【第3号】	29 p.88～91 p.13
はたらくことの よさをかんじて 本冊教材番号 6 道徳ノート	「 6 みんなのニュースがかり」を通して、みんなのために働き、自分に与えられた役割を責任をもって果たすことについて学び、勤労を重んじる態度を養います。【第2・3号】 児童の仕事や役割について考える書き込み欄を設けました。【第2・3号】	6 p.17～19 p.14
家ぞくの やくに 立つ ことを 本冊教材番号 14 34 道徳ノート	介護という現代的課題を扱った「 14 おばあちゃんのおふろ」、物語の「 34 きつねとぶどう」を通して、家族を敬愛し、協力して家庭を築いていく意識を高めます。【第3号】 自己と家族との関わりを考える書き込み欄があります。【第3号】	14 p.44～46 34 p.104～107 p.15
学校の生活を楽しく 本冊教材番号 25 道徳ノート	学校への帰属意識がより高まることを踏まえ「 25 わたしの学校 いい学校」を通して、自らの学校を改めて見つめ、学校の一員として協力してよりよい学校生活を築いていく意識を高めます。【第3号】 自らの学級について考える書き込み欄を設けました。【第3号】	25 p.76～78 p.16
国やふるさとに 親しみをもって 本冊教材番号 12 26 道徳ノート	「 12 ぎおんまつり」ではそれぞれの地域で伝統と文化が受け継がれていることを知り、「 26 楽しいお正月」では日本の新年の風物詩から、日本の伝統や文化のよさを考えます。【第5号】 自分の地域の祭りについて考え、郷土への親しみを深めます。【第5号】	12 p.36～39 26 p.79～81 p.17
ほかの国に 親しみをもって 本冊教材番号 27 道徳ノート	写真を中心として構成した教材「 27 せかいはつながっている」では、児童の身の回りの物などから世界の国々を想起させ、国際社会についての理解を深めます。【第5号】 他の国から来たものについて考え、知的好奇心を引き出します。【第5号】	27 p.82～83 p.18
いのちやせんとのこと いのちを大切に 本冊教材番号 11 21 22 道徳ノート	「 11 おはかまいり」で生命の連続性や有限性を考え、「 21 いのちをかんじて」で自己の生命への自覚を促し、「 22 なつこが生まれたころ」では生命のかけがえのなさを感じ取らせます。【第4号】 生まれたときのことを家の人にたずねる活動があります。【第4号】	11 p.34～35 21 p.66～67 22 p.68～69 p.20
生きものにやさしく 本冊教材番号 32 道徳ノート	人間の放棄したビニールに命をうばわれた動物を扱った「 32 キリンのみなみ」を通して、自然愛護について考えます。【第4号】 生き物との関わり方を考える書き込み欄を設けました。【第4号】	32 p.98～100 p.21
すがすがしい心で 本冊教材番号 35 道徳ノート	「 35 しあわせの王子」の王子とツバメの姿から、その心の美しさを感じ取らせ、豊かな情操を培います。【第1号】 児童が自身の体験を紹介する活動があります。【第1号】	35 p.108～111 p.22

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
自分で まもるよ 自分の あんぜん	活動範囲がより広がる小学校2年生段階を配慮し、事故や事件に遭遇しないための留意点をイラストにまとめました。内容項目では「節度、節制」「規則の尊重」「生命の尊さ」などに該当します。健やかな身体の発育のために安全意識を高めます。【第1号】	p.40～41

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) ワイドで見やすい AB 判

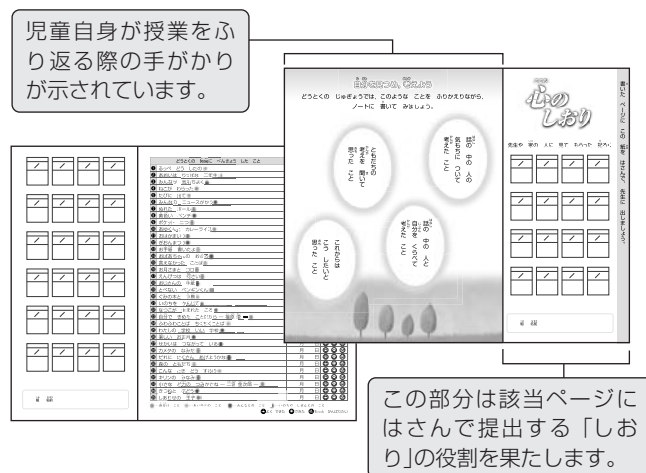
判型は本冊，別冊ともに AB 判を採用し，紙面にゆとりをもたせ，圧迫感のない構成を心がけました。見やすさ，読みやすさを重視して白を基調とした紙面に，発達の段階に応じて文字の大きさや分量，イラスト配置を工夫し，ワイド判によるビジュアル面の利点を生かしました。

(2) 表記・構成上の工夫

- ①道徳科の教材は，児童の読み取りに差異が生じないことが前提と考え，だれもが内容を正確に理解できるよう，当該学年の配当漢字を含む未習の漢字については，ページ初出のみならず，すべてにルビ（ふりがな）を配しました。
- ②別冊の授業の記録欄を巻末に整理・統合することで，大きくりなまとまりで児童の学習が見取りやすくなるよう配慮しました。

(3) 利便性の高い「心のしおり」

別冊巻末に折り込みとして，学習の自己評価やふり返りとなり，教師や家の人の確認の履歴にもなる「心のしおり」を用意しています。今次改訂では，児童の発達の段階に応じた表現で，児童自身が授業をふり返る際の手がかりにすることができる文言を掲載しました。



(4) 用紙選定，印刷上の配慮

- ①環境への配慮から本冊，別冊ともに印刷には植物油インキを使用し，本冊は，発色のよさ，見やすさを重視した再生紙を，別冊は，鉛筆での書きやすさ，消しやすさを重視した再生紙を使用しました。
- ②別冊は授業の記録欄を巻末に整理・統合することでページ数の削減を図るとともに，用紙をより軽いものに変更することで，以前より二割ほどの軽量化を実現し，児童の持ち運びの際の負担軽減に努めました。

(6) 特別支援教育，ユニバーサルデザインへの対応

色覚の違いにより学習に支障をきたすことのないよう，色の識別のみによらず，文字情報をはじめマークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるように配慮しました。なお，カラーユニバーサルデザインは，専門の第三者機関に検証を依頼し，CUD 認証マークの取得を予定しています。

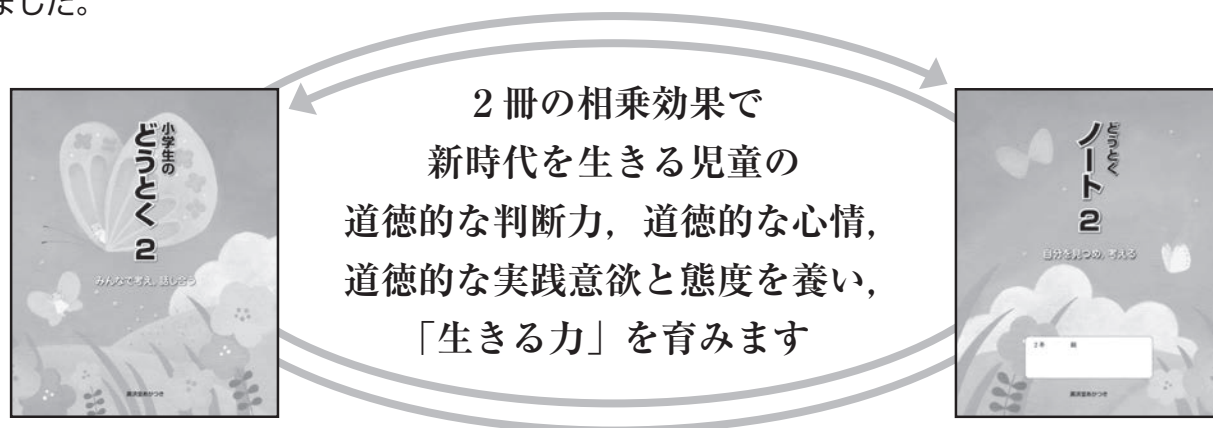
編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-8	小学校	道徳	道徳	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 210 道徳 211	みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく2 自分を見つめ、考える どうとくノート2		

1 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則や、道徳科の目標を達成するため、本教科書は以下の点に特に意を用い、編修しました。



本冊 小学生のどうとく2

【内容】

- 発達の段階に応じた選りすぐりの教材
- 教材別「考えよう 話し合おう」
 - ・教材をもとに考える問い
 - ・自己に照らして考える問い
- その他（特集、詩、内容項目一覧など）

【特色】 みんなで考え、話し合う

教材をもとに考え、話し合う主体的・対話的な学習を通して、多面的・多角的な思考を促し、自己の生き方についての考えを深めます。

【主な言語活動】 読む、話す、聞く

別冊 どうとくノート2

【内容】

- 内容項目（道徳的諸価値）の解説
- 内容項目に準じた問い
- 授業で活用できる書き込み欄
- 心のしおり（自己評価、提出記録など）
- その他（特集、活動の記録欄など）

【特色】 自分を見つめ、考える

書くことを通して自問と内省へと導き、道徳的思考をいっそう深め、道徳的諸価値（内容項目）の理解を確かなものにします。

【主な言語活動】 読む、書く

授業の事前・事後、導入・終末など、児童の学習状況や教材のタイプ、教師がイメージする授業の進め方、展開等に応じて、適切な機会に別冊を活用することで、児童の道徳的諸価値の理解や道徳的思考の深まりをより効果的に促すことができます。

本冊の特色

みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく2

(1) 魅力あふれる多様な教材 (全35本)

名作から新しい作品まで幅広く掲載し、現代的な課題を含むものや問題解決的、体験的な学習活動を促すものまで、多様な教材を取りそろえました。

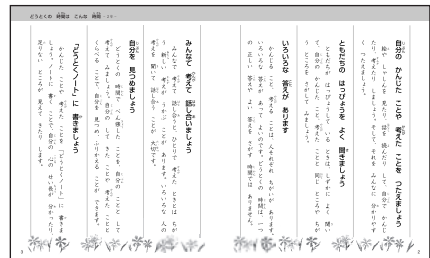
第二学年	教材の題材	該当する教材番号	教材の性質	該当する教材番号
	生命の尊厳	11, 21, 22, 32	問題解決的な学習を促す	1, 4, 6, 7, 8, 9, 15, 16, 28, 29, 30, 32
	自然	11, 17, 32	道徳的行為に関する体験的な学習を促す	3, 5, 10, 13, 14, 19, 20, 21, 24, 26, 27, 29, 31
	伝統と文化	12, 26	問題意識をもち多様に考えることができる教材、深く考えることができる教材、自己の体験や経験に照らして考えることができる教材、悩みや葛藤、心の揺れなど人間らしさが理解できる教材、よりよく生きる喜びや勇気、感動を与えられる教材を厳選しました。	
	先人の伝記	33		
	スポーツ	23		
	情報化への対応 (情報モラル)	6		
その他の現代的な課題	食育=10 / 健康教育=10, 21, 22 / 福祉に関する教育=14 / 国際理解教育=27 / 社会の持続可能な発展=17 / 人権・いじめに関する教育=28, 29, 30			

(2) 発達の段階に応じた、重点項目と教材配置の工夫

学年の重点項目には、最大時間数（年間3時間）を配当し、より重点的に学べるよう一部は2時間連続で配置しています。

第二学年	重点項目		該当する教材番号
	A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	7, 9, 28
		節度, 節制	1, 10, 17
	B	親切, 思いやり	2, 20, 31
	C	規則の尊重	3, 8, 18
	D	生命の尊さ	11, 21, 22

* 21, 22は2時間連続配置



●どうとくの時間はこんな時間

道徳の時間の学習について、発達の段階に応じた表現で解説しています。授業開き(オリエンテーション)に活用できます。

(3) 児童の主体的な学習を促す「考えよう話し合おう」

児童が学習の見通しをもって自ら課題意識や問題追求への意欲を高め、主体的に学習に取り組めるよう、教材ごとに学びの手がかりとなる「考えよう話し合おう」を設けました。

第2学年においては、発達の段階を考慮し、教材をもとに考える問いや自己に照らして考える問い（各教材につき2問）を掲載することにとどめています。



●考えよう話し合おう

学習の手がかりとなり、自主的な学習を促します。

●教材名横には第二学年の発達の段階に応じ、学びのヒントを示しました。

(1) 道徳的諸価値（内容項目）の確かな理解を促す解説

道徳ノートは、それぞれの内容項目（道徳的価値）についての解説を掲載しています。児童の発達の段階に応じて表現を工夫し、端的に分かりやすく示しました。この解説を読むことで、児童は学ぶべき道徳的諸価値の理解を確実なものにすることができます。

どのタイミングで扱うかは、教師の判断にゆだねられます。児童の実態や教材のタイプ、教師がイメージする授業展開等により、いかようにも活用できることが、内容項目の解説を読み物等の教材とは別の冊子に掲載した大きな理由であり、利点であると考えています。

(2) 自問と内省へと導き、道徳的思考を深める問い

内容項目ごとに、その道徳的諸価値に準じた問いを掲載しています。この問いと向き合うことで、児童は、道徳的諸価値についての理解をもとに自分を見つめ、自己の生き方についての考えをより深めることができます。

授業で活用できるノート欄

教師の指示で、記載内容を決めるなど、弾力的な活用が可能です。全35時間の授業の記録ができるよう書き込み欄を用意しています。

内容項目の解説

発達の段階に応じた言葉で分かりやすく示し、道徳的諸価値の理解を確実にします。

内容項目に準じた問い

道徳的諸価値の理解をもとに、自分を見つめ、道徳的思考をいっそう深めます。

(3) 記入したことのすべてが、児童の「心の記録」となる

道徳ノートへの記入内容は、そのすべてが児童の「心の記録」となります。児童は、折に触れて過去の記述を読み返したり、巻末の「心のしおり」を利用して自己評価したりすることで、自らを振り返って成長を実感したり、課題や目標を見出すことができます。また、巻末にまとめられた児童の授業時の記録や感想は、大きくくりなまとまりを踏まえて児童の学びを見取る際の手がかりとなります。

●別冊ノート 記録欄

(4) 家庭や地域との連携を促す工夫

周りの人と関わりをもたせる問いを取り入れることで、道徳教育における家庭や地域との連携を促しました。また、教師のみならず、家の人にも見てもらったことを記録するチェック欄を設けることで、道徳ノートが、児童を中心に学校と家庭を結ぶ「かけ橋」となるよう工夫しました。

2 対照表

本教科書本冊の構成・内容と学習指導要領が示す「内容」の各事項との対照は以下の通りです。

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	本冊 該当箇所	別冊 該当箇所	配当 時数
①	るっぺ どうしたの	節度, 節制	p.4~6	p.3 p.6	1
②	あおいは りっぱな 二年生	親切, 思いやり	p.7~9	p.7 p.11	1
③	みんなが 気もちよく	規則の尊重	p.10~11	p.12	1
④	ねこが わらった	正直, 誠実	p.12~13	p.2	1
⑤	たびに 出て	礼儀	p.14~16	p.9 p.11	1
⑥	みんなの ニュースがかり	勤労, 公共の精神	p.17~19	p.14	1
⑦	ぬれた ボール	善悪の判断, 自律, 自由と責任	p.20~23	p.1	1
⑧	黄色い ベンチ	規則の尊重	p.24~26	p.12	1
⑨	ポケット ニつ	善悪の判断, 自律, 自由と責任	p.27~29	p.1	1
⑩	あゆくんと カレーライス	節度, 節制	p.30~33	p.3 p.6	1
⑪	おはかまいり	生命の尊さ	p.34~35	p.20 p.19	1
⑫	ぎおんまつり	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	p.36~39	p.17	1
⑬	お手紙 書いたよ	感謝	p.42~43	p.8	1
⑭	おばあちゃんのおふる	家族愛, 家庭生活の充実	p.44~46	p.15	1
⑮	言えなかったことば	友情, 信頼	p.47~49	p.10 p.11	1
⑯	お月さまと コロ	正直, 誠実	p.50~53	p.2	1
⑰	えんぴつは 何さい	節度, 節制	p.54~55	p.3 p.6	1
⑱	おじさんの手紙	規則の尊重	p.56~58	p.12	1
⑲	とべないペンギンくん	個性の伸長	p.59~61	p.4	1
⑳	ぐみの木と 小鳥	親切, 思いやり	p.62~65	p.7 p.11	1
㉑	いのちを かんじて	生命の尊さ	p.66~67	p.20 p.19	1
㉒	なつこが 生まれた ころ	生命の尊さ	p.68~69	p.20 p.19	1
㉓	自分で きめた ことだから — 福原 愛 —	希望と勇気, 努力と強い意志	p.70~73	p.5	1
㉔	ふわふわことば ちくちくことば	礼儀	p.74~75	p.9 p.11	1
㉕	わたしの 学校 いい 学校	よりよい学校生活, 集団生活の充実	p.76~78	p.16	1
㉖	楽しい お正月	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	p.79~81	p.17	1
㉗	せかいは つながっている	国際理解, 国際親善	p.82~83	p.18	1
㉘	カメタの なみだ	善悪の判断, 自律, 自由と責任	p.84~87	p.1	1
㉙	だれに たくさん あげようかな	公正, 公平, 社会正義	p.88~91	p.13	1
㉚	森の ともだち	友情, 信頼	p.92~95	p.10	1
㉛	こんな とき どう するの	親切, 思いやり	p.96~97	p.7 p.11	1
㉜	キリンの みなみ	自然愛護	p.98~100	p.21 p.19	1
㉝	小さな どかの つみかさね — 二宮 金次郎 —	希望と勇気, 努力と強い意志	p.101~103	p.5	1
㉞	きつねと ぶどう	家族愛, 家庭生活の充実	p.104~107	p.15	1
㉟	しあわせの 王子	感動, 畏敬の念	p.108~111	p.22	1
特集	自分で まもるよ 自分の あんぜん	生命の尊さ/規則の尊重/節度, 節制	p.40~41		下記
配當時数合計					35

・「自分で まもるよ 自分の あんぜん」は、図書の各内容と関連させて適宜使用いただけるよう、配當時数に含めています。

・①～㉟については、最も関連の深い学習指導要領の内容のみを示しています。

本教科書別冊の構成・内容と学習指導要領が示す「内容」の各事項との対照は以下の通りです。

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		別冊 該当箇所	本冊該当箇所 (教材番号)	配当 時数
自分のこと	よいことわるいことをくべつして	主として自分自身に 関すること	善悪の判断, 自律, 自由と責任	p.1	7 9 28	3
	すなおにのびのびと		正直, 誠実	p.2	4 16	2
	きそく 正しく 気もちよい 毎日を		節度, 節制	p.3	1 10 17	3
	自分のよさに気づいて		個性の伸長	p.4	19	1
	自分でやることはしっかりと		希望と勇気, 努力と強い意志	p.5	23 33	2
あつ手のこと	あたたかい心で親切に	主として人との関わ りに関すること	親切, 思いやり	p.7	2 20 31	3
	まわりの人にかんしゃして		感謝	p.8	13	1
	気もちのよいふるまいを		礼儀	p.9	5 24	2
	ともだちとなかよく		友情, 信頼	p.10	15 30	2
みんなのこと	やくそくやきまりをまもって	主として集団や社会との 関わりに関すること	規則の尊重	p.12	3 8 18	3
	すききらいをしないで		公正, 公平, 社会正義	p.13	29	1
	はたらくことのよさをかんじて		勤労, 公共の精神	p.14	6	1
	家ぞくのやくに立つことを		家族愛, 家庭生活の充実	p.15	14 34	2
	学校の生活を楽しく		よりよい学校生活, 集団生活の充実	p.16	25	1
	国やふるさとに親しみをもって		伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	p.17	12 26	2
	ほかの国に親しみをもって		国際理解, 国際親善	p.18	27	1
56歳から64歳のこと	いのちを大切に	主として生命や 自然、崇高なも のとの関わりに 関すること	生命の尊さ	p.20	11 21 22	3
	生きものにやさしく		自然愛護	p.21	32	1
	すがすがしい心で		感動, 畏敬の念	p.22	35	1
特集	きそく 正しく 元気よく	節度, 節制		p.6		下記
	ふわふわことばで みんな なかよし	礼儀/親切, 思いやり/友情, 信頼		p.11		下記
	かくれている生きものを見つけよう	自然愛護/生命の尊さ		p.19		下記
配当時数合計						35

「きそく 正しく 元気よく」「ふわふわことばで みんな なかよし」「かくれている生きものを見つけよう」は、図書の各内容と関連させて適宜使用いただけるよう、配当時数に含めています。

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-8	小学校	道徳	道徳	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 210 道徳 211	みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく2 自分を見つめ、考える どうとくノート2		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
	なし		なし	
合計				